

平成28年度 町民体育祭を終えて

【お礼のあいさつ】

みなさん 本当にお疲れ様でした。

今こうして体育祭の競技が終了すると、グラウンドに吹く風が急に涼しいもの感じられます。今日の体育祭が、それだけ熱く盛り上がったという事ではないでしょうか。

今日の体育祭を見せていただいて、手に汗を握る競技やユーモラスな競技など、盛りたくさんのプログラムで、大変楽しく過ごさせてもらいました。

それぞれの地区がひとつになって、地区全体で応援し、できる限りの声を出して、手をたたき、とび跳ねながら、そして笑顔で、からだ全体で応援している皆さんの姿が今日一番に私の心に残りました。

どこの町でもそうではありますが、かつてあったものを一度なくしてしまうと、もう一度やりなおそうと思っても、なかなか元には戻らないものでございます。

しかし、町民のみなさまによる実行委員会形式で、16年ぶりに町民体育祭を開催することができました。

多くのみなさまが、たった一日ほんの数時間でありますけれども、子どもからお年寄りまで笑顔で集うことのできる場として、大切にしていきたいと思えます。ぜひ、今後も継続してまいりたいと思えます。

最後になりますが、長期間にわたり、夜遅くまで熱心にプログラムを練っていただきました実行委員、部会員の方々、大会開催にあたり、ご協力をいただいた

各地区、関係団体の方々、そして体育祭に参加いただいた町民の皆様にご心より感謝を申し上げます。そして、東栄町が益々発展できますよう、皆さんと心ひとつに取り組んでいくことをお約束し、お礼のあいさつとさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

平成28年10月10日

東栄町長 村上孝治

※ 体育祭終了後、多くの町民の皆様からメールなどを通じて、感想や要望意見などいただいています。本当にありがとうございます。

○一部を紹介させていただきます。

今日は一日お疲れ様でした。始まるまでは、いろいろなご意見（賛成・反対）もあり心配していましたが、子どもから高齢者まで1,000人は超えていたかと思います。私は成功だったと思います。日頃会わない人に会ったり、地域の年齢を越えて交流ができたと思います。なんととっても皆さんとても素敵な笑顔でした。

☆意見要望の一部

40代、50代の男女が参加できる競技をお願いします。今回は参加できる種目

がなく、手持無沙汰で非常に残念でした。縄跳びは若い人中心、消防は39歳以下。そして、玉入れは60歳以上であります。次回は、是非みんな参加できるよう競技を考えてみてください。